

図書館周辺イベントのご紹介 & 妖怪おすすめ本



Yondoku? Vol.13

★二の丸美術館「水木しげる妖怪道五十三次」
7/27(土)~9/29(日)
※中央図書館でも関連展示も予定しています!

二の丸美術館



こんな妖怪を知っていますか?
『水木しげる妖怪道五十三次』
に出てくる妖怪たち

夜泣き石 (日坂「山中夜泣き石」に登場)

小夜中山という峠で妊婦が盗賊に殺されてしまったが、お腹の子は地元のお寺の観音様に助けられた。それ以来、妊婦の霊が傍らにあった石に乗り移り、悲しい声で泣いたと伝えられています。

舞台となった小夜の中山の周辺には、他にも「無間の鐘」「大蛇退治」などの話が残っています。



水木しげる関連本

- 『水木しげる妖怪道五十三次』水木 しげる／著 YMブックス 388.1ミ (3館)
- 『鬼太郎と行く妖怪道五十三次』水木 しげる／著 やのまん 388.1ミ (大須賀)
- 『水木しげるの中国妖怪事典』水木 しげる／著 東京堂出版 388.22ミ (中央)
- 『水木しげる妖怪まんが鬼太郎』水木 しげる／著 小学館 726.1ミ (中央・大東)
- 『水木しげるの妖怪地図』荒俣 宏／監修 平凡社 388.1ミ (中央・大東)
- 『ゲゲゲの食卓』武良 布枝／著 扶桑社 596ム (中央)

まだまだあります! 妖怪・怖い話 おすすめ本

- 『ほんとうは恐ろしい昔話』徳田 和夫／監修 池田書店 913ホ (中央)
- 『静岡の怖い話』寺井 広樹／著 TOブックス 388.15テ (3館)
- 『妖怪がやってくる』佐々木 高弘／著 岩波書店 388サ (中央)
- 『怪異物語創作コンテスト 掛川百鬼紀行』掛川百鬼夜行実行委員会／編 株式会社あらまほし 798.4カ (中央・大須賀)

浪小僧 (原「霊峰不死」に登場)

遠州灘に棲む、河童のような妖怪。命を助けてもらったお礼に、雨を知らせてくれたり、日照りの時に雨を降らせてくれたという。

静岡県は海に面しており、他にも海に住む妖怪の話が多いようです。

大天狗 (掛川「烈風蕭々」解説に登場)

白狐に乗って秋葉山にやってきた「三尺坊」という名前の大天狗。火伏せの神として知られています。火事が起こると、あっという間に飛んできて火を消してくれたという話が残っています。

参考:『水木しげる妖怪道五十三次』水木 しげる／著 YMブックス

『日本怪異妖怪事典 中部』朝里 樹／監修 笠間書院

『しずおか妖怪・奇談を訪ねて』静岡新聞社

『掛川のむかし話』第2版 掛川歴史教室／編集 掛川歴史教室編集委員会

★掛川城天守閣開門 30周年

掛川城天守閣開門 30周年

記念事業実行委員会

2024年は掛川城天守閣開門30周年イヤーです。-----

これから様々な記念イベントが予定されています。

現在「掛川城30thインスタフォトコンテスト」開催中です!



INFORMATION

発行 掛川市立図書館



@LibraryKakegawa

ホラー

『かがみのなか』

恩田 陸／作 樋口 佳絵／絵
東 雅夫／編 岩崎書店 Eヒ
右手を出せば、左手を出す。左手を出せば、右手を出す。いつもあべこべ。だけど、ときどき間違えて…。どこにでもある鏡。日常の中に当たり前にあるものが、怖いものへと変わる怪談えほんです。 **中央館** **大東館** **大須賀館**



『怖い4コマ慣用句事典』

湖西 晶／著 814 コ
イースト・プレス

慣用句をホラーな4コマで説明しています。混ぜると白くなる無味無臭の毒を紅茶に入れて「お茶を濁す」など怖い4コマが載っています。 **大須賀館**



『残穢』 **中央館** **大東館** **大須賀館**

小野 不由美／著 新潮社 913.6 オノ
何の変哲もないマンションで起きる怪異現象。その怪異は感染していく。次はどこへ……。読んでいるだけで、ゾクゾクしてくる長編ホラー小説です。



『恐怖のなぞが解けるとき 3分後にソツとするラスト やっと会えたね』

福井 蓮／著 汐文社 913 フ
推理しながら読むと、思わず背中がゾツとするお話がたくさん。霊に関する豆知識も載っています。 **大須賀館**



『怪談実話系 書き下ろし怪談文芸競作集』 **大東館** **大須賀館**

『幽』編集部／編
メディアファクトリー B913.68 カ
10名の人気作家による、全篇書き下ろしの“実話系”怪談短篇集です。実話と物語が不穏に交錯する極上の恐怖と戦慄をあなたに！
シリーズも出ています。



『「怖い」が好き！』

加門 七海／著 理論社
147 カ **中央館** **大東館** **大須賀館**

怖いものは好きですか？怖いと思うのにホラー映画を見てしまう、おばけを見てみたいと思うのは何故でしょうか。その謎を解き明かします。



『新耳袋殴り込み 突撃！現代百物語』

ギンティ小林／著 洋泉社 147 キ
怪談集『新耳袋 現代百物語』の中から気になる場所を巡り、その体験を記録した1冊。語りが面白く、ホラーが苦手な人でも読みやすいです。 **中央館**



紹介している本は、予約いただければ3館どこでも借りることができます。